

令和3年度「アルコール・薬物依存症家族支援プログラム」

「大切な人のアルコール・薬物問題を、どこに相談したらよいかわからない」
 「本人を治療につなげたいけれど、家族がどう関わったらいいかわからない」
 ご家族の中には、「依存症」という病気との付き合い方がわからなかったり、
 ご本人との関係の取り方に困ってしまうことがあります。



このプログラムでは、グループワークを取り入れながら、ご家族のアルコール・薬物依存症という病気への理解を高め、本人とのコミュニケーションの工夫について学ぶことを目的としています。ご家族自身がこころの健康の回復や家族関係の改善を図ることが、本人自身の回復にも役立つことを学ぶ機会になればと思います。毎回内容が異なります。途中からの参加も可能ですので、ぜひお越しください。

<プログラム内容>

- ・アルコール依存症・薬物依存症について
- ・上手なコミュニケーションで本人を治療につなげる
- ・長期的な回復を支え、再発・再使用に備える
- ・家族のセルフケア

など

また、利用できる相談窓口(社会資源)を知っていただく機会として、医療機関や回復施設、自助グループの方をゲストにお呼びする予定です。

日程 令和3年5月から令和4年2月までの毎月第1木曜日 13時30分～15時30分

令和3年 5月6日, 6月3日, 7月1日, 8月5日
 9月2日, 10月7日, 11月4日, 12月2日
 令和4年 1月6日, 2月3日

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては日程を変更する可能性があります。

対象 アルコール・薬物問題を抱える人の家族(参加される方が京都市在住であること)

定員 各回20名(参加無料)

申込 相談専用電話(☎314-0874)による申込のうえ、センターでの事前面談を受けていただきます。年度途中からの参加も可能です。

会場 京都市地域リハビリテーション推進センター 1階 研修室(中京区壬生仙念町30)

*京都市こころの健康増進センターは同じ建物の2階です。

<過去に参加されたご家族の声> (一部修正)

- こころの健康増進センターに行く日は、主人が「ご苦労さん」と言ってくれるようになりました。月1回、参加するのを楽しみにしています。(妻)
- 他の方の話を聞くことで、自分の狭い世界を広くできたと思う。安心できる場所なので、ありがたいと思っています。(母)
- 社会でまだ声をあげられない方々がいると思うので、身近にいたら助けてあげたいです。(娘)



新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止のために

来所時はマスクを着用ください。
 当日は咳エチケット等を心掛けてください。
 当日の体調に御配慮いただき、咳や発熱などの症状がある方は参加を御遠慮ください。

京都市こころの健康増進センター
 (京都市地域リハビリテーション推進センター2階)

市バス
 阪急電鉄
 京福電鉄

「四条御前通」下車すぐ
 「西院駅」徒歩3分(北改札口・南改札口)
 「西院駅」下車徒歩3分

京都市印刷物 第024869号 令和3年3月
 発行元：京都市こころの健康増進センター
 問合せ：Tel:075-314-0355
 Fax:075-314-0504

